

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
食と観光実践	藤枝 律子	実習	2		2,3	3,4	2
授業概要 授業目的	<p>・授業概要 成長産業に位置づけられる観光業の現状を学び、食や歴史文化といった地域独自の資源と結びつける考え方を理解するための体系的なカリキュラムを用意している。三重県の重要課題である食と観光に対して、現地でのフィールドワークを交えた体験型実習を行う。観光地としての魅力発信や観光客向けのインフラ整備といった生活と観光の両立に向けた課題を理解するとともに、スポーツやボランティアといった昨今の観光潮流と食文化をどのように結びつけるか。地域産業としての観光業と、地域資源としての歴史文化、食の魅力を考察し、提案する機会を設ける。</p> <p>・授業目的 現地学習型のフィールドワークによって地域課題を主体的に考え、グループワークにおいて専門性の異なる他者と議論し、地域の社会人に対してインタビューを行なうといった一連のプロセスによって、地域イノベーションを実践する人材育成を目指す。</p>						
到達目標	<p>三重県における社会的事象(観光客誘致、インフラ整備、事業継続性など)を深く理解し、関連する諸分野の知識を統合し、理想的な地域の有り様を探究する。本科目の特徴は現地学習型であり、3～5人のグループワークを通して地域課題(「食と観光」)を発見し、それについて深い分析・考察を加え、その成果を効果的に表現する事で、自らの考えを社会に還元する素養を修得する。</p>						
学習内容	<p>【1回目】13:00～17:00 MieMu三重県の基礎情報を学ぶ 13:00～15:30:展示見学・講義 15:40～17:00:グループワーク</p> <p>【2回目】10:00～16:10 市内フィールドワーク 10:00～12:00:施設見学・体験 12:00～13:00:昼食・移動 13:00～14:00:食を通じた観光開発 14:10～16:10:グループワークワークショップ</p> <p>【3回目】10:00～16:10市内フィールドワーク 10:00～12:00:観光地として 12:00～13:00:昼食 13:00～14:30:食と観光の取組み 14:10～16:10:グループワーク</p> <p>【4回目】10:00～16:10市内フィールドワーク 13:00～14:30:グループワーク① 14:30～15:00:中間発表 15:00～16:30:グループワーク②</p>						
予習内容 復習内容	<p>・事前学習 ガイダンス 現状把握と課題解決の考え方・ご当地グルメを活用した町おこし・グループワーク</p> <p>・事後学習 成果発表会</p>						
教科書	<p>・なし</p>						
成績評価	<p>・事前学習や現地合宿への積極的な参加40%、成果発表30%、レポート30%</p>						
実務経験							
その他 特記事項	<p>・この講義科目は、コンソーシアムみえに参加する三重県内の高等教育機関の単位互換科目である。三重大学が実施する事前・事後学習及び現地学習に他大学生と共に参加する。</p> <p>・現時点での学習内容となり、実際の授業実施に際しては受入れ先と調整の上、変更の可能性もある。</p> <p>・学生教育研究賠償責任保険には必ず加入すること。その他、受講にあたり自己負担となる費用が発生する可能性がある(詳細は後日掲示)。</p>						